

指導と評価の計画【H 体育理論】

領域 体育理論（スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展） 入学年次【1年】

単 元 の 目 標	知識	<p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。</p> <p>(ア) スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることについて理解できるようにする。</p> <p>(イ) 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることについて理解できるようにする。</p> <p>(ウ) 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることについて理解できるようにする。</p> <p>(エ) スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることについて理解できるようにする。</p>
	思考力、判断力、表現力等	<p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</p>
	学びに向かう力、人間性等	<p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。</p>

学 習 の ね ら い	1	<p>【スポーツの歴史的発展と多様な変化】</p> <p>スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになっており、その理念が時代に応じて多様に変化してきていることを理解できるようにする。</p> <p>また、近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることを理解できるようにする。</p>
	2	<p>【現代のスポーツの意義や価値①】</p> <p>現代のスポーツは国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることを理解できるようにする。</p> <p>オリンピックムーブメントは、オリンピック競技大会を通じて、人々の友好を深め、世界の平和に貢献しようとするものであること、また、パラリンピック等の国際大会が、障害の有無等を超えてスポーツを楽しむことができる共生社会の実現に寄与していることについて理解できるようにする。</p>
	3	<p>【現代のスポーツの意義や価値②】</p> <p>競技会での勝利が個人や国家等に多大な利益をもたらすようになるとドーピング（禁止薬物使用等）が社会問題として取り上げられるようになったこと、ドーピングは不当に勝利を得ようとするフェアプレイの精神に反する不正な行為であり、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせる行為であることを理解できるようにする。</p>
	④	<p>【スポーツの経済的効果と高潔さ①】</p> <p>現代のスポーツの経済的効果には、スポーツの実施による直接的な効果のみならず、例えば、スポーツ用品、スポーツに関する情報やサービス、スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果、スポーツイベント等による波及的効果があり、経済活動に大きく影響を及ぼしていることを理解できるようにする。</p>
	5	<p>【スポーツの経済的効果と高潔さ②】</p> <p>スポーツの経済的波及効果が高まるに伴って、スポーツの価値をおとしめる可能性が生じることから、スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方が求められていることについて理解できるようにする。</p>
	6	<p>【スポーツが環境や社会にもたらす影響】</p> <p>スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになってきていることを理解できるようにする。</p> <p>また、スポーツを行う際は、提供者、利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められていることについても理解できるようにする。</p>

単 元 の 評 価 規 準	知識・技能	<p>① スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>② 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③ 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④ スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p>
	思考・表現・判断	<p>① スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響についての課題を発見している。</p> <p>② スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会にもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。</p>
	学習主体としての態度	<p>① スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。</p>

指導と評価の計画【H 体育理論】

領域 体育理論（スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展）
 入学年次【1年】

時	主な学習活動	評価の重点			評価方法等
		知技	思判表	態度	
1	<p>【スポーツの歴史的発展と多様な変化】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツの始まりと発展について理解する。 2. 近代スポーツが誕生し、国際スポーツへ拡大した背景について理解する。 3. グループで興味を持っているスポーツを挙げ、どのように誕生し、進化・変化を遂げたのかを調べる。 4. いくつかのグループに発表させ、本時の学習のまとめをし、次時の見通しをもたせる。 <p style="margin-left: 200px;">日本発祥のスポーツやSAGA2024の種目に興味を持たせるように助言する。</p>	①			<p>【知-①】 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることについて理解したことを言ったり書き出したりしている内容で捉える。</p> <p style="text-align: right;">【観察・ワークシート】</p>
2	<p>【現代のスポーツの意義や価値①】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東京2020オリンピック・パラリンピックの場面で印象に残っていることを発表させる。 2. オリンピックの歴史と理念、価値（具体的な活動）について理解する。 3. パラリンピックの歴史と理念、価値について理解する。 4. オリンピック・パラリンピックが抱える問題点を「見る・支える・する」の観点に分けてグループで話し合う。 5. グループで出た意見を発表し、本時の学習のまとめをする。 <p style="margin-left: 200px;">例：種目、選手など</p> <p style="margin-left: 200px;">SAGA2024の国スポ・全障スポに着目させて考えてもよい。</p>	①			<p>【思-①】 スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響についての課題を発見している内容で捉える。</p> <p style="text-align: right;">【観察・ワークシート】</p>
3	<p>【現代のスポーツの意義や価値②】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツの不正には、どのようなことがあるのかを挙げさせる。 2. 「ドーピング」に着目し、語源や内容について理解する。 3. 「ドーピング」が禁止される理由について、グループで意見交換を行う。 4. 道具による競技力向上についてどのように思うかをグループで意見交換を行う。 5. グループごとに発表し、本時の学習のまとめをする。 <p style="margin-left: 200px;">例：ドーピング、人種差別、八百長など</p> <p style="margin-left: 200px;">例：マラソンでの厚底シューズ・競泳での高速水着の使用など</p>	②			<p>【知-②】 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることについて理解したことを言ったり書き出したりしている内容で捉える。</p> <p style="text-align: right;">【観察・ワークシート】</p>
4 (指導案)	<p>【スポーツの経済的効果と高潔さ①】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2040年のオリンピックが日本で開催された場合を想定し、どのようなものが必要かを話し合う。 2. グループで出た意見を、スポーツの「する」「みる」「支える」のどの分野に入るかを話し合う。 3. グループでどのような経済的効果があるかを意見交換するとともに、関心の高まりによって一層の高潔さが求められることについて話し合う。 4. グループごとに発表し、本時の学習のまとめをする。 <p style="margin-left: 200px;">SAGA2024の国スポ・全障スポにも着目して考えさせる。</p>	③	①		<p>【知-③】 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていることについて理解したことを言ったり書き出したりしている内容で捉える。</p> <p style="text-align: right;">【観察・ワークシート】</p> <p>【態-①】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている状況を捉える。</p> <p style="text-align: right;">【観察・ワークシート】</p>
5	<p>【スポーツの経済的効果と高潔さ②】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 活躍しているスポーツ選手の写真を提示し、広告としての役割があることについて理解する。 2. 選手が活躍に至るまでの苦労や実際に取り組んできた内容を紹介し、理解を深める。 3. スポーツが普及・強化ことによる悪影響について考える。 4. 自分が親しんでいるスポーツについて、何を重視して取り組んでいるかをグループで意見交換する。 5. 本時の学習のまとめをする。 <p style="margin-left: 200px;">例：大谷翔平選手、大坂なおみ選手など</p> <p style="margin-left: 200px;">体育の授業で行っている競技にも着目して考えさせる。</p>	②			<p>【思-②】 スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている内容を捉える。</p> <p style="text-align: right;">【観察・ワークシート】</p>
6	<p>【スポーツが環境や社会にもたらす影響】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近年、地球上で問題になっている環境問題を発表させる。 2. 大規模なスポーツイベントや日常行っているスポーツで、自然環境に影響を及ぼすものを挙げる。 3. 環境問題が深刻化することで影響を受けるスポーツをグループで話し合う。 4. スポーツを楽しむために、環境汚染を起こさない工夫（SDGs等の観点を含む）について、グループで意見交換する。 5. 環境や社会に良い影響をもたらすために、スポーツのあるべき姿について考え、本時の学習のまとめをする。 	④			<p>【知-④】 スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることについて理解したことを言ったり書き出したりしている内容を捉える。</p> <p style="text-align: right;">【観察・ワークシート】</p>

本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていることについて理解できる。 **【知識】**
- ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に、自主的に取り組むことができる。 **【学びに向かう力、人間性等】**

(2) 展開 (4/6時間)

段階	学習内容・活動	教師の指導・支援と評価
はじめ	1. 本時の目標を確認し、学習の見通しをもつ。 ・今までに開催された国際大会を発表する。	・本時の学習内容を確認する。 ・身近なところで様々なスポーツが行われていることに興味・関心をもたせる。
なか	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> めあて 『現代のスポーツが生み出す経済的効果について考えてみよう。』 </div> 2. 各グループ(4人組)を作り、提示された内容について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ◎2040日本でのオリンピック開催決定! ・オリンピックの開催に向けて、<u>どのようなものが必要となるかを考える。</u> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <予想される意見(必要なもの)> ・道具(ユニフォームなど) ・会場(練習・更衣場所など) ・旅費や開催費用(宣伝費、選手の宿舎) など ※どれくらいの費用がかかるのかも推測させる。 </div> 3. グループで出た内容をスポーツの「する」「みる」「支える」に分類できるかを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <予想される回答例> 「する」⇒スポーツ用品(ユニフォームなど) 「みる」⇒スポーツ情報(宣伝用テレビなど) 「支える」⇒試合会場(スケートリンクなど) </div> 4. どのような経済効果があるかをグループ内で意見交換を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <予想される回答例> ・海外からの観光客が多いと、日本の商品をたくさん購入してくれる。 ・オリンピックのグッズが売れるとよい。 など </div> 5. グループ内で出た意見を発表し、共有する。 ・グループの意見をまとめる。 ・代表者がグループの意見を発表する。 ・他のグループの意見を共有し、ワークシートに記入する。	・グループを作る際には、偏りが出ないように、スポーツへの興味関心や意欲のある生徒とそうでない生徒を組み合わせるなどして、話し合いが円滑に行われるようにする。 ・グループ内で、役割をもたせるようにする。 ◆【態度①】ワークシート・観察 ・思い付いた意見を自由に発言させる。 ・話し合いが進んでいないグループには、他のグループの話し合っている内容を参考にするように助言する。 ・グループの話し合いで出た項目を、グループのワークシートにまとめるように促す。 ・中学校での学習内容をもとにしながら、「する」「みる」「支える」の分野に分類できるように指示する。 ・それぞれの経済効果を考えさせる。 ・各グループで出た意見を黒板(または電子黒板)等へ書き出し、全体で情報を共有する。 ◆【知識・技能③】ワークシート・観察 ・グループ内での意見をまとめるように促す。 ・他のグループの意見を聞いて、新しく気付いたことはメモを取るように声をかける。
まとめ	6. 本時のまとめをする。 ・教師の説明を聞き、学習のまとめを記入する。 ・授業の振り返りをワークシートに記入する。	・現代のスポーツがどのような経済的効果を生み出してきたかを理解させる。

学習ワークシート 「スポーツの経済的効果と高潔さ①」

1年()組 氏名

役割:

2040年 日本でのオリンピックを開催することが決定!!

Q1.どのようなものが必要になるか? (もの=物・者・moneyなど)

Q2. グループで出た内容を分類してみよう。

する	スポーツの(道具・用品)に関するもの	
みる	スポーツの(情報・サービス)に関するもの	
支える	スポーツの(施設)に関するもの	

Q3.それぞれの分野ごとにどのような経済的効果があると思いますか?



【する】

【みる】

【支える】

【まとめ】

◎現代におけるスポーツの発展は(**用具や用品**)、(**情報やサービス**)、(**スポーツ施設**)、などが相互に関わりあっており、(**スポーツ産業の発展**) に大きく影響している!

○今日の授業を振り返っての理解できたことを書いてみよう!



指導と評価の計画【H 体育理論】

領域 **体育理論（運動やスポーツの効果的学習の仕方）** 次の年次【2年】

単元 の 目 標	知識	<p>運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。</p> <p>(ア) 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。</p> <p>さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となることを理解できるようにする。</p> <p>(イ) 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。</p> <p>さらに、現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることを理解できるようにする。</p> <p>(ウ) 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。また、これらの獲得には、一定の期間がかかることを理解できるようにする。</p> <p>(エ) 運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることを理解できるようにする。</p>
	思考力、 判断力、 表現力等	<p>運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</p>
	学びに向かう力、 人間性等	<p>運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。</p>

学 習 の ね ら い	1	<p>【運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害】</p> <p>運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることできるようにすることや運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になると、さらに期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて理解する。</p>
	2	<p>【スポーツの技術と技能及びその変化①】</p> <p>個々の運動やスポーツを特徴付けている技術は、練習を通して身に付けられた合理的な動き方としての技能という状態で発揮されること、技能には、クローズドスキル型とオープンスキル型の技能があること、オープンスキル型の技能は、対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること、クローズドスキル型の技能は、個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること、その型の違いによって学習の仕方が異なることを理解する。</p>
	3	<p>【スポーツの技術と技能及びその変化②】</p> <p>スポーツの技術や戦術、ルールは、用具や用品、施設などの改良によって変わり続けていること、特に、現代では、テレビやインターネットなどのメディアの発達などによっても影響を受けていることを理解する。</p>
	4	<p>【運動やスポーツの技能の上達過程①】</p> <p>運動やスポーツの技能の上達過程にを試行錯誤の段階、意図的な調整の段階及び自動化の段階の三つに分ける考え方があること、また、これらの段階に応じて、効果的に上達を図るためには、良い動きを参考として自己の課題を設定すること、課題解決のための自己に適した練習方法を選択すること、自己観察や他者観察を通して課題を発見し解決すること、上達に応じて次の課題を設定することといった取り組み方が運動の継続に有効であることを理解する。</p>
	5	<p>【運動やスポーツの技能の上達過程②】</p> <p>運動やスポーツの技能の獲得には、一定の時間がかかることを踏まえ、解決すべき課題を意識した上で、繰り返し取り組むことが安定した技能の定着につながることに理解する。</p>
	⑥	<p>【運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方】</p> <p>運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること及び気象条件や自然環境の変化など様々な危険を予見し回避するためには、けがや事故の防止のための対策、発生時の処置、回復期の対処などの各場面での適切な対応方法を想定しておくこと、けがや事故につながりそうな体験から行動や活動環境の修正を図ることが有効であることを理解する。</p>

単元 の 評 価 規 準	知識・ 技能	<p>①運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤運動やスポーツの技能の獲得には、一定の期間がかかることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p>
	思 考 表 現 判 断	<p>①運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>②運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して、他者に伝えている。</p>
	組 学 主 お 習 体 態 に 的 度 取 り	<p>①運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

指導と評価の計画【H 体育理論】

領域 **体育理論** (運動やスポーツの効果的学習の仕方)
その次の年次【2年】

時	主な学習活動	評価の重点			評価方法等
		知技	思判表	態度	
1	<p>【運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツで活躍するために、必要なものを考える。 2. スポーツテストを参考にして、「体力要素」について理解する。 3. 幼少期と中高生期を比較して、できるようになった運動技能を挙げ、その要因をグループで話し合う。 4. いくつかのスポーツ種目を取り上げ、土台となる体力要素を考える。 5. 「トレーニングの基本法則と原理」について理解する。 6. 食事や休養・睡眠の重要性を伝え、本時の学習のまとめをする。 	①			<p>【知-①】 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となることについて理解したことを言ったり書き出したりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】</p>
2	<p>【スポーツの技術と技能及びその変化①】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グループで様々なスポーツの場面の動画を鑑賞する。 2. 自分が行っているスポーツで特徴的な要素を挙げる。(ブレインストーミング) 3. 運動技能の仕組みと戦術について理解する。 ※オープンスキルとクローズドスキルの違いを説明する。 4. 2で挙げた項目をスキル別に分類し、様々なスポーツの運動技能の特徴について理解する。 5. 本時の学習のまとめをする。 	②			<p>【知-②】 運動やスポーツの技術は、学習と通じて技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があることについて理解したことを言ったり書き出したりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】</p>
3	<p>【スポーツの技術と技能及びその変化②】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サッカーや棒高跳びを例に、ルールや用具の変化について知る。 2. マスメディアやSNSの普及が与える影響について考える。 3. 3で挙げた内容の問題点および対策をグループで話し合う。 4. 本時の学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><メディアによる影響> ・バレーボールにおけるラリーポイント制の導入など <SNSによる影響> ・試合結果への匿名での誹謗中傷⇒選手の精神的ダメージ</p> </div>	③			<p>【知-③】 現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることについて理解したことを言ったり書き出したりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】</p>
4	<p>【運動やスポーツの技能の上達過程①】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運動技能の上達過程について理解する。 2. 体育の授業や運動経験の中で、「楽しく練習ができた場面」を考える。 3. 選択球技で起こる課題について、練習方法や簡易ゲームの内容をグループで考える。 4. グループごとに発表を行い、本時の学習のまとめをする。 	④	①		<p>【知-④】 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあることについて理解したことを言ったり書き出したりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】</p> <p>【思-①】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている内容や状況を捉える。 【観察・ワークシート】</p>
5	<p>【運動やスポーツの技能の上達過程②】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前時の学習の振り返りをする。 2. 選択球技の競技の優れた選手のプレイをグループで鑑賞し、特徴について意見交換する。 3. プラトールとスランプについて理解する。 4. 本時の学習のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>体育の授業で行っている競技にも着目して考えさせる。</p> </div>	⑤		①	<p>【知-⑤】 運動やスポーツの技能の獲得には、一定の期間がかかることについて理解したことを言ったり書き出したりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】</p> <p>【態-①】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている状況を捉える。 【観察・ワークシート】</p>
6 (指導案)	<p>【運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>例：サッカーのラフプレイ、野球のピッチングなど</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運動やスポーツとけがの関係について思いつくことを挙げる。 2. 運動によるけがの実態について理解する。 3. スポーツの状況(写真または動画)を見て、どのようなけがが起こりうるかをグループで話し合う。 4. 3で出た意見をもとに、どのようにけがを予防するかをグループで話し合う。 5. 予防のために必要なことや対処について考え、本時の学習のまとめをする。 	⑥	②		<p>【知-⑥】 運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることについて理解したことを言ったり書き出したりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】</p> <p>【思-②】 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して、他者に伝えている内容や状況を捉える。 【観察・ワークシート】</p>

本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることについて理解できる。 **【知識】**
- ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して、他者に伝えることができる。 **【思考力,判断力,表現力等】**

(2) 展開 (6/6時間)

段階	学習内容・活動	教師の指導・支援と評価
はじめ	<p>1. 本時の目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに自分が行ったり、見聞きしたりしたスポーツでの怪我や事故を発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・捻挫、骨折、打撲、脱臼など ・人とぶつかった、着地で足を捻った など </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>めあて 『スポーツで起こりうる事故や怪我の原因とその予防について考えよう』</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を確認する。 ・どのスポーツの際に起きた怪我や事故かを自由に挙げさせる。
なか	<p>2. 各グループ(4人組)の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを行っている写真(または動画)を見て起こりうる怪我の種類と発生要因を話し合い、ワークシートに記入する。 <p>【例】 A 競り合い B ピッチング C 稽古中</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツ外傷」と「スポーツ障害」について説明し、ワークシートに分類させる。 <p>3. スポーツを行う際に、怪我や事故予防のために「事前に確認することは何か」を話し合い、ワークシートに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な睡眠、バランスの取れた食事 ・服装の点検、運動環境(用具、施設)の確認 ・<u>健康状態の把握</u> など </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループを作る際は、偏りが出ないように、スポーツへの興味関心や意欲のある生徒とそうでない生徒を組み合わせるなどして、話合いが円滑に行われるようにする。 ・怪我や事故が起こりそうな写真(または動画)を数種類準備し、グループごとに選択させる。 ・話合いが進んでいないグループには、教師が助言をする。 ・グループの話合いで出た項目を、グループのワークシートにまとめるように促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>◆【思考・判断・表現②】ワークシート・観察</p> </div>
か	<p>4. 怪我や事故を予防するために、必要なことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォームアップやクールダウン など </div> <p>5. RICE処置について、ワークシートに必要な内容を記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出た意見を黒板(または電子黒板)等へ書き出し、全体で情報を共有する。 ・グループの話合いで出た項目を、グループのワークシートにまとめるように促す。 <ul style="list-style-type: none"> ・健康状態の部分に着目させ、予防への関心を高める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>◆【知識・技能⑥】ワークシート・観察</p> </div>
まとめ	<p>6. 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の説明を聞く。 ・ワークシートに、授業で理解したことについて、感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の開始時と終了時に注目させるように声をかける。 ・1年次の保健で学習した内容(例:RICE処置)を復習させるために、電子黒板等で資料を提示する。 ・熱中症などの環境条件についても取り上げ、怪我や事故が起こる前の予防が大切であることを伝える。 ・ワークシートのまとめ、内容を整理させる。

指導と評価の計画【高等学校 保健】

領域 科目「保健」 単元：現代社会と健康（エ）喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 入学年次または次の年次以降【1年】

単元 の 目 標	知識	喫煙と飲酒は生活習慣病などの要因になること、薬物乱用は心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと、それらの対策には個人や社会環境への対策が必要であることについて理解できるようにする。
	思考力, 判断力, 表現力等	喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価することができるようにする。
	学びに向か う力, 人間 性等	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりの学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。

学 習 の ね ら い	1	【喫煙・飲酒と健康①】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身への健康を損ねることについて理解できるようにし、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。
	2	【喫煙・飲酒と健康②】 喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書き出したりするとともに、喫煙、飲酒と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。
	③	【薬物乱用と健康】 コカイン、MDMAなどの麻薬、覚せい剤、大麻など、薬物の乱用は心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから決して行ってはならないこと、危険ドラッグの問題、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規則や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解できる。
	4	【薬物乱用の誘いへの対処】 薬物乱用の防止について自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できるようにするとともに、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。

単元 の 評 価 規 準	知識・技能	①喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、周囲の人々や胎児への影響について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③コカイン、MDMAなどの麻薬、覚せい剤、大麻など、薬物の乱用は心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから決して行ってはならないこと、危険ドラッグの問題、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規則や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。
	思考・表現・判断	①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

指導と評価の計画【高等学校 保健】

領域 科目「保健」 単元：現代社会と健康（エ）喫煙、飲酒、薬物乱用と健康
 入学年次または次の年次以降【1年】

時	主な学習活動	評価の重点			評価方法等
		知技	思判表	態度	
1	【喫煙・飲酒と健康①】 1. 喫煙・飲酒による心身の健康への影響について理解する。 2. 喫煙・飲酒の開始要因についてグループで意見を出し合う。 3. 喫煙・飲酒について個人や社会環境への対策について調べ、グループで共有する。 4. 本時のまとめをワークシートに記入する。	①			【知一①】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身への健康を損ねることについて理解したことを言ったり書き出している内容を捉える。 【観察・ワークシート】
2	【喫煙・飲酒と健康②】 1. 前時までの学習を振り返る。 2. 酒の広告を見ての印象を踏まえ、広告にどのような意図があるのか批判的思考をもってグループで分析し、ワークシートにまとめて発表する。 3. 喫煙・飲酒防止のための個人や社会環境への対策について、日本がさらにどのような対策がとれるかグループで話し合う。 4. グループで出た意見を発表し、全体で共有する。 5. 本時のまとめをワークシートに記入する。	②	①		【知一②】 喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書き出したりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】 【思一①】 喫煙、飲酒と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人および社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している内容や状況を捉える。 【観察・ワークシート】
3 (指導案)	【薬物乱用と健康】 1. 中学校までの学習を振り返る。 2. 薬物乱用の危険性と社会影響について理解する。 3. 薬物乱用の開始には、どのような要因がかかわっているのかをグループで話し合い、全体の場で発表する。 4. 薬物乱用防止のための対策についてグループで話し合い、個人への対策と社会環境への対策に分類させる。 5. グループで出た意見を発表し、全体で共有する。 6. 本時のまとめをワークシートに記入する。	③			【知一③】 薬物の乱用は心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから決して行ってはならないこと、危険ドラッグの問題、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規則や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書き出したりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】
4	【薬物乱用への誘いの対処】 1. 前時までの学習を振り返る。 2. ロールプレイングを行い、薬物乱用への誘いに対処し、グループ内で対処の仕方について評価し合う。 3. 薬物乱用への誘いに対して、理想の対処の仕方についてグループで話し合い、対話形式で発表する。 4. 本時のまとめをワークシートに記入する。		②	①	【思一②】 薬物乱用の防止について自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている内容や状況を捉える。 【観察・ワークシート】 【態一①】 薬物乱用と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている状況を捉える。 【観察】

7. 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・コカイン、MDMAなどの麻薬、覚せい剤、大麻など、薬物の乱用は心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから決して行ってはならないこと、危険ドラッグの問題、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規則や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解できる。 【知識】

(2) 展開（3/4時間）

段階	学習内容・活動	教師の指導・支援と評価
はじめ	<p>1 中学校までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用について例をあげ、正しいものはどれか考えさせる。（選択肢） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・法律で禁止されている薬物以外は使用しても薬物乱用にはならない ・市販薬は決められた用法を守らずに使用すると薬物乱用になることがある </div> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用について確認する。（ワークシートに記入） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までの既習事項を振り返りながら考えさせる。 ・どちらが正しいか挙手させる。（どちらも薬物乱用） ・なぜそう思うのか数名に理由を発表させ、板書する。 ・生徒の意見を用いて薬物乱用について確認する。
めあて『薬物乱用の危険性を理解し、個人や社会環境への対策を考えよう』		
なか	<p>2 薬物乱用の危険性と社会影響について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乱用薬物の健康への影響と薬物乱用が引き起こす社会問題について理解する。（ワークシートに記入） <p>3 薬物乱用の開始要因についてグループで話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>発問：薬物の乱用はいけないことだとわかっているにもかかわらず使用してしまうのはなぜだろう？</p> <p>予想される意見</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達や先輩に誘われて断れない ・好奇心 ・害について理解していないから </div> </div> <p>4 薬物乱用防止について考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>発問：薬物乱用を防止するために必要なことは何だろう？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止のための対策を考え、グループで意見交換をする。（ワークシートに記入） <p>予想される意見</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・法律の整備をする ・密輸の取り締まりを厳しくする ・薬物乱用の危険性を広める </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・おもな乱用薬物とその健康影響について説明し、1回の乱用で命を失うこともあることを伝える。 ・社会問題について具体的に調べる。（学習用PC） <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>◆【知識・技能③】 《観察・ワークシート》</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループをつくり、思いついた意見を自由に発言させる。 ・いくつかのグループに意見を発表させる。 ・開始要因について説明する。 ・薬物乱用は身近に起こりうる問題であることを意識させる。 ・話し合いが進まないグループには、他のグループの意見を参考にするよう助言する。 ・グループで出た意見を個人への対策と社会環境への対策に分類させる。 ・他のグループの意見を聞き、気付いたことがあればワークシートにメモを取らせる。
まとめ	<p>5 グループで出た意見を発表し、全体で共有する。</p> <p>6 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の説明を聞く。 ・ワークシートに今日の授業で理解したことを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用の防止のために、正しい知識の普及や規範意識の育成が重要であることを説明する。 ・薬物の乱用は、決して行ってはならないことを意識させ、薬物乱用経験者を孤立させない社会づくりも必要であることを説明する。

薬物乱用と健康

1年 組 号 名前 _____

1. 薬物乱用について知ろう！

○薬物乱用とは

(違法薬物) の使用や医薬品を (本来の目的) から外れて使用すること。

○健康への影響

- (脳) に直接働きかけて一時的に強い快感をもたらす、本来の (自分らしさ) を失わせる危険性がある。
- (1回の乱用) で呼吸困難やけいれんを引き起こし、(死亡) することもある。
- 強い (依存性) をもつ。

○薬物乱用が引き起こす社会問題についてまとめよう

2. なぜ薬物乱用をしてしまうのだろう？

3. 薬物乱用防止のための対策を考え、個人への対策と社会環境への対策に分類してみよう。

4. 今回の授業で理解したことをまとめよう。

	個人への対策	社会環境への対策
あなたの考え		
グループ		

指導と評価の計画【高等学校 保健】

領域 科目「保健」 単元：安全な社会生活（ア）安全な社会づくり 入学年次または次の年次以降【1年】

単元 の 目 標	知識	安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること、交通事故を防止するためには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わることや交通事故には補償等の責任が生じることを理解できるようにする。
	思考力, 判断力, 表現力等	安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを他者に説明することができるようにする。
	学びに向かう力, 人間性等	安全な社会づくりについて、課題解決に向けた学習活動に主体的に取り組むことができるようにする。

学 習 の ね ら い	1	<p>【事故の現状と発生要因】 事故の発生には周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて理解できるようにする。</p>
	2	<p>【安全な社会の形成】 安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携が必要であること、乳幼児、高齢者、障害者、妊婦などの安全には、特に支援が必要な場合があることについて理解できるようにする。また、安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができるようにする。</p>
	③	<p>【防災・避難計画をつくろう】 津波や台風などで災害が起こるたびに、正常性バイアスや準備の不足のために逃げ遅れて被害にあう人がいることについて、理解したことを言ったり書き出したりするとともに、事故や災害が発生した場合、状況に応じた自分や家族の命を守るための行動や周囲の人々と協力して助け合う行動を選択し、それを他者に説明できるようにする。また、安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができるようにする。</p>
	4	<p>【交通における安全】 交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であること、交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることを理解できるようにする。また、将来、二輪車及び自動車などの運転手として、交通社会の一員となることもあることを考慮し、運転者としての責任、加害事故の防止や事故発生時の適切な対処の方法について理解できるようにする。</p>

単元 の 評 価 規 準	知識・技能	<p>①事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②事故を防止したり事故の発生に伴う障害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③交通事故を防止するためには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の状況や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であること、交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>
	思考・表現・判断	<p>①安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>②安全な社会生活について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>
	主に主体的に態度組む学習	<p>①安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

指導と評価の計画【高等学校 保健】

領域 科目「保健」 単元：安全な社会生活（ア）安全な社会づくり
 入学年次または次の年次以降【1年】

時	主な学習活動	評価の重点			評価方法等	
		知技	思判表	態度		
1	【事故の現状と発生要因】 1. 事故が発生する場面についてグループで話し合う。 2. 事故の発生に関する要因について理解する。 3. 過去に自分が起こした自転車事故や危なかった体験をもとに事故の要因を分析し、ワークシートにまとめる。 4. 本時のまとめをワークシートに記入する。	①			【知一①】 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書き出したりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】	
2	【安全な社会の形成】 1. 前時までの学習を振り返る。 2. 安全な社会づくりのための個人の行動と社会の取組について理解する。 3. 実際に事故や災害が発生した場合を想定し、自分にできること(すべきこと)は何かグループで話し合い、発表する。 4. すべての人々にとって安全な社会づくりのために必要なことは何かグループで話し合う。 5. 本時のまとめをワークシートに記入する。	②	①		【知一②】 事故を防止したり事故の発生に伴う障害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書き出したりしている内容や状況を捉える。 【観察・ワークシート】 【思一①】 安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している内容を捉える。 【観察・ワークシート】	
3 (指導案)	【防災・避難計画をつくろう】 1. 前時までの学習を振り返る。 2. 過去の事例における被害拡大の原因を考える。 3. 自分の住んでいる地域で実際に行われている安全対策について調べる。 4. 今後、災害が起きた場合にどのような行動をとるべきか、グループで意見を出し合い4つのパターンごとにまとめる。 5. 全体で発表する。 6. 住んでいる地域でさらにどのような対策がとれるか考える。 7. 本時のまとめをワークシートに記入する。			②	①	【思一②】 安全な社会生活について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している内容や状況を捉える。 【観察・ワークシート】 【態一①】 薬物乱用と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている状況を捉える。 【観察】
4	【交通における安全】 1. 前時までの授業を振り返る。 2. 交通事故防止のための対策についてグループで話し合う。 3. 交通事故の責任と補償について理解する。 4. 交通社会の一員となる際、運転者にはどのような資質が求められるか、グループごとに話し合い、発表する。 5. 本時のまとめをワークシートに記入する。	③			【知一③】 交通事故を防止するためには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の状況や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であること、交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることについて、理解したことを言ったり書き出したりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】	

7. 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・ 事故や災害が発生した場合、状況に応じた自分や家族の命を守るための行動や周囲の人々と協力して助け合う行動の仕方を選び、それを他者に説明できる。【思考力、判断力、表現力等】
- ・ 安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。【学びに向かう力、人間性等】

(2) 展開（3/4時間）

段階	学習内容・活動	教師の指導・支援と評価	
はじめ	1 前時までの学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全な社会の形成における既習事項を質問しながら学習した内容を振り返らせる。 ・ 思いついた意見を自由に発言させる。 ・ 生徒の意見を板書し、その中から実践できそうなことはないか考えさせる。 ・ 事故や災害が発生した場合、正しい情報を整理し、迅速な避難行動をとることが重要であることに気付かせる。 ・ 正常性バイアスについて説明する。 	
	2 過去に発生した豪雨災害において、被害が拡大した原因を考える。 予想される意見 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ こんなことになると思わなかった ・ 自分は大丈夫だと思っている </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> めあて『適切に危険を回避するために時間の流れにそった防災・避難計画をつくろう』 </div>			
なか	3 自分が住んでいる地域について考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 発問：佐賀県で実際に行われている災害（水害）の対策を調べてみよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害（水害）の対策について調べ、ワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀県で過去に起きた災害（水害）について触れ、いつ起きても冷静に行動することができるよう、対策しておくことが重要であることを理解させる。 	
	4 調べたことをもとに、今後災害が起きたときに必要なことを考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 発問：今後、災害（水害）が起きたときに何が必要か、考えてみよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4つのタイミングに分け、それぞれの段階で必要になるものを考え、ワークシートにまとめる。 		
	4つのタイミング（例：水害） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> ① 平常時 ② 水害の可能性があるとき ③ 水害の危険が迫ったとき ④ 避難がすでに危険なとき </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に体験したことなどをもとに準備しておくべきことを考えるよう助言する。 ・ 地図やハザードマップなどを参考に、自分の住んでいる地域の地形や特徴について参考にしながら考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ◆【思考・判断・表現②】《観察・ワークシート》 </div>	
	5 グループごとに発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合った内容を発表し、全体で共有する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ グループでまとめた意見を黒板に板書（電子黒板に投影）させる。 ・ 各グループの発表を意識させ、共感させるような声かけをする。
	6 佐賀県でさらにどのような対策がとれるか考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調べたことや話し合った内容をもとにワークシートにまとめる。 ・ グループ内で意見交換する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害発生時は、自分の安全を確保することはもちろん、周囲の人々の安全を守ることも大切だということを意識させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ◆【態度①】 《観察》 </div>
まとめ	7 本時のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の説明を聞く。 ・ ワークシートに今日の授業で理解したことを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予期せぬ事態に陥った時に落ち着いて行動することの大切さを伝える。 ・ 防災教育動画を視聴し、避難行動について確認をする。 	

※本時の実践例は、事前に水害の被害経験を確認したり、保護者に伝えたりすることを前提とした授業になります。

安全な社会の形成

～防災・避難計画をつくろう～

1年 組 号 名前 _____

1. 佐賀県で実際に行われている安全対策について調べてみよう。

災害の種類	内容	場所

2. 今後、災害が起きたとき以下のタイミングで何が必要か、考えてみよう！（例：水害）

自分の 考え	①平常時	②水害の可能性があるとき
グループ		
自分の 考え	③水害の危険が迫ったとき	④避難がすでに危険なとき
グループ		

3. 佐賀県では、さらにどのような対策がとれるか、考えてみよう！

4. まとめ

災害が起きたときに自分や家族の命を守るためには…？

指導と評価の計画【高等学校 保健】

領域 科目「保健」 単元：生涯を通じる健康 (ア)生涯の各段階における健康

入学年次または次の年次【2年】

単元 の 目 標	知識	思春期の性機能の変化、健康問題について理解できるようにする。 結婚生活に必要なこと、妊娠・出産に関することや身体への影響について理解できるようにする。
	思考力、 判断力、 表現力等	生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	生涯の各段階における健康の学習に主体的に取り組むことができるようにする。

学 習 の ね ら い	1	【思春期と健康①】 思春期に起こる性的成熟に伴う心身の変化や健康課題が生じることを理解できるようにする。
	2	【思春期と健康②】 思春期の心身の変化に伴い、自身の行動への責任感や異性を理解したり、尊重したりする態度が必要であることを理解できるようにする。
	③	【結婚生活と健康①】 結婚生活には、心身の発達が欠かせないこと、受精・妊娠・出産はどのようにして行われるのかを理解できるようにし、それらには年齢や生活習慣による問題が大きく関係していること、自他の健康への責任感、良好な人間関係や家族、周囲の支援及び保健・医療サービスの必要性があることを理解できるようにする。
	4	【結婚生活と健康②】 結婚生活において、家族計画の意義、人工妊娠中絶の心身への影響を理解できるようにする。
	5	【結婚生活と健康③】 結婚生活には、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周囲の支援、様々な保健・医療サービスを活用することが必要であることを理解できるようにする。

単元 の 評 価 規 準	知識・ 技能	①思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面・心理面・行動面などの変化に関わり、健康問題が生じることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。 ②思春期における心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要なことに関して、理解したことを言ったり、書いたりしている。 ③結婚生活と健康には、心身の発達や健康の保持増進が欠かせないこと、受精・妊娠・出産と健康問題について年齢や生活習慣が関わること、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周囲の支援及び保健・医療サービスの活用が必要なことについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。 ④家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響について理解したことを言ったり、書いたりしている。
	思 考 表 現 判 断	①思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために性にかかわる情報を適切に整理している。 ②結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。
	主 に 体 取 り に 関 与 す る 学 習	①生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。

指導と評価の計画【高等学校 保健】

領域 科目「保健」 単元：生涯を通じる健康 (ア)生涯の各段階における健康
 入学年次または次の年次以降【2年】

時	主な学習活動	評価の重点			評価方法等
		知技	思判表	態度	
1	【思春期と健康①】 1. 男女それぞれの思春期における性的成熟について知る。 (中学校の復習) 2. 性的成熟に伴う心身の変化や健康問題を考える。 (月経不順・精通・精神的不安定など) 3. 思春期には、精神面・行動面にどのような変化があるのか グループで話し合い、意見を出し合う。 4. 各グループで話し合った意見を発表し、クラス全体で共有する。 5. 本時の学習のまとめをする。	①			【知一①】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面・心理面・行動面などの変化に関わり、健康問題が生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】
2	【思春期と健康②】 1. 前時の振り返りをする。(男女の性的成熟、精神面・行動面の変化) 2. 思春期の精神面・行動面の変化により周囲への影響を考え、 責任を持った行動はどういったものか考える。 (ホルモンの影響による精神的なイライラなど) 3. 性意識・性行動の男女の差に着目し、他者を理解する。 4. それぞれ自分の認識する性別に分かれ、性意識・性行動に関する ディスカッションを通して、それぞれの主張を知り、理解する。 (性自認はそれぞれで違うこと、LGBTQなど補足) 5. 本時の学習のまとめをする。	②	①		【知一②】 思春期における心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要なことに関して、理解したことを言ったり、書いたりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】 【思一①】 思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために性にかかわる情報を適切に整理している内容を捉える。 【ワークシート】
3 (指導案)	【結婚生活と健康①】 1. 受精・妊娠・出産までの流れを復習する。(中学校の復習) 2. 妊娠・出産に伴う健康課題について考える。(早産・流産・高齢 出産・産後うつなど) 3. 出産・育児についてそれぞれの立場で考え意見を出し合い意見 を共有する。(母親(妊婦)・パートナー・家族(両親・兄弟姉妹)など) 4. 本時の学習のまとめをする。	③			【知一③】 結婚生活と健康には、心身の発達や健康の保持増進が欠かせないこと、受精・妊娠・出産と健康問題について年齢や生活習慣が関わること、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周囲の支援及び保健・医療サービスの活用が必要なことについて、理解したことを言ったり、書いたりしている内容を捉える。 【ワークシート】
4	【結婚生活と健康②】 1. 前時の振り返りをする。(受精・妊娠・出産までの流れ) 2. 家族計画の意義を理解する。 3. 人工妊娠中絶の心身への影響を考える。(手術による不妊症・ 精神的不安定など) 4. 望まない妊娠を避けるためにどう行動すればよいか考え、発表し、 意見を共有する。 5. 本時の学習のまとめをする。	④			【知一④】 家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響について理解したことを言ったり、書いたりしている内容を捉える。 【ワークシート】
5	【結婚生活と健康③】 1. 前時の振り返りをする。(家族計画・人工妊娠中絶について) 2. 結婚生活を健康的に過ごすために必要なことは何か考え、それ ぞれの立場で考え、グループで話し合う。(夫・妻・シングルなど) 3. 話し合った意見を各グループ代表者が発表し、思考を広げる。 4. 自身の結婚生活について考える。 5. 本時の学習のまとめをする。	②	①		【思一②】 結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している内容や状況を捉える。 【観察・ワークシート】 【態一①】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた活動学習に主体的に取り組もうとしている内容を捉える。 【ワークシート】

7. 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・受精・妊娠・出産の流れを復習し、それらには生活習慣や年齢などの関わりがあること、周囲のサポートが重要であることについて理解できる。 【知識】

(2) 展開（3/5時間）

段階	学習内容・活動	教師の指導・支援と評価
はじめ	<p>1 中学校までの学習を振り返る。 受精・妊娠・出産の流れについて振り返る。【動画視聴】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて『妊娠・出産にともなう健康課題や周囲のサポートの重要性について知ろう』</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・【射精→受精→着床→出産】の動画を見せる。 ・本時のめあてを確認する。
なか	<p>2 妊娠・出産にともなう健康課題について考え、発表する。《ワークシートに記入》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《予想される意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つわり・流産・高齢出産 ・産後うつ など </div> <p>3 なぜそのような課題があるのか考える。 →説明を聞く。</p> <p>4 出産・育児にともなう健康課題を起こさないためにそれぞれの立場でできること(望むこと)を考える。 【母親(妊婦)・パートナー・家族】 《ワークシートに記入》</p> <p>5 グループ内で出た意見を発表し、共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《予想される意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母親(妊婦)→食事に気を配る。走らない。一人で抱え込まない。 ・パートナー→家事を分担。相手の話を聞く。出産後のサポート。 ・家族→産婦人科への付き添い。出産後のサポート。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの意見をまとめる。 ・代表者がグループの意見を板書する。 ・他のグループの意見を共有し、ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いついた意見を自由に発言させる。 ・生徒からの意見を板書する。 ・生徒からの意見を確認し、原因を考えさせる。 ・必要であれば説明する。 例) つわり→妊娠による身体の急激な変化に対応できない。個人差がある。 例) 高齢出産→晩婚化により増加傾向。母子ともに様々なリスクが上がる。 例) 産後うつ→産後1カ月以降に現れるうつ状態。ホルモンの乱れやストレスによるもの。 ・健康課題には、生活習慣や健康が関係していることを理解させる。 ・グループに分かれ個人で予想した後グループ内で共有するよう指示する。 ・自身の意見が出にくい場合はグループ内で教えあうよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">◆【知識・技能③】《観察・ワークシート1, 2》</div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内での意見をまとめるよう促す。 ・代表者は、意見を板書するよう声をかける。 ・生徒からの意見を確認し、共有させる。 ・他のグループの意見を聞いて、新たな意見はメモを取るよう声をかける。
まとめ	<p>6 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の説明を聞く。 ・ワークシートに今日の授業で理解したことを書く。 ・次時の予定を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産は母親(妊婦)だけの課題ではないことを説明する。 ・次回は、家族計画・人工妊娠中絶について学習することを伝える。

【結婚生活と健康①】

2年（ ）組（ ）号 氏名（ ）

1. 妊娠・出産にともなう健康課題にはどのようなものがあるか？

健康問題	なぜ？
----- 新たな意見（他のグループ） -----	

2. 出産・育児にともなう健康課題についてそれぞれの立場でできること(望むこと)を考えてみよう

母親（妊婦）	パートナー	家族（両親・兄弟姉妹）
----- 新たな意見（他のグループ） -----		

3. 本時のまとめ

本時の授業での印象に残ったワードを書きましょう

{

本時の授業の感想・質問を書きましょう

{



指導と評価の計画【高等学校 保健】

領域 **科目「保健」** 単元：**健康を支える環境づくり (イ)食品と健康**
 入学年次または次の年次以降【2年】

単元 の 目 標	知識	<p>食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解できるようにするとともに様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて理解できるようにする。</p> <p>食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて理解できるようにする。食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解できるようにする。</p> <p>様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて理解できるようにする。</p> <p>食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて理解できるようにする。</p>
	思考力, 判断力, 表現力等	健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。
	学びに向かう力, 人間性等	健康を支える環境づくりの学習に主体的に取り組むことができるようにする。

学習 の ね ら い	1	<p>【ア.食品の安全性①】 食品の安全性が健康にどのような影響を与えるのかを理解できるようにする。</p>
	2	<p>【ア.食品の安全性②】 消費者側として食品の安全性を守るためにできることを考え、理解できるようにする。</p>
	③	<p>【イ.食品衛生に関わる活動①】 食品の製造・加工による衛生管理について理解できるようにする。</p>
	4	<p>【イ.食品衛生に関わる活動②】 食品衛生に関する行政・生産者・製造者・消費者の連携について理解できるようにする。</p>

単元 の 評 価 規 準	知識・技能	<p>①人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であることを理解し、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。</p> <p>②食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。</p> <p>③食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。</p>
	思考・表現・判断	<p>①食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。</p> <p>②健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>
	主体的に取り組む態度	①健康を支える環境づくりの学習について、問題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。

指導と評価の計画【高等学校 保健】

領域 科目「保健」 単元：健康を支える環境づくり (イ)食品と健康
 入学年次または次の年次以降【2年】

時	主な学習活動	評価の重点			評価方法等
		知技	思判表	態度	
1	【ア.食品の安全性①】 1. 食品の衛生管理の重要性を理解する。 2. 食物アレルギーについて知る。(アナフィラキシーショックについて) 3. 食品が原因となった健康被害について考え、健康被害の出た原因をグループで話し合う。 4. 各グループで出た意見を発表し、クラス全体で共有する。 5. 本時の学習のまとめをする。	①			【知一①】 人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であることを理解し、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解したことを言ったり、書き出ししたりしている内容や状況を捉える。 【観察・ワークシート】
2	【ア.食品の安全性②】 1. 前時の振り返りをする。(食品の安全性、危険性について) 2. 賞味期限・消費期限・食品添加物について理解する。(日本と海外の規定の違いなど) 3. 食品を購入する際に気を付けていることを考え、発表し、意見を共有する。 4. 他者の意見を聞き、自身の意見との共通点や相違点を確認する。 5. 本時の学習のまとめをする。		①		【思一①】 食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている内容を捉える。 【観察・ワークシート】
3 (指導案)	【イ.食品衛生に関わる活動①】 1. 前時の振り返りをする。(食品の安全性のために必要なこと) 2. 食品の製造・加工までの安全確保・衛生管理のための行政の働きかけを考え、その関連する法律を理解する。 3. HACCPについて確認する。 4. 食品の製造・加工の段階で起こる可能性のある危険を予想し、グループ内で意見を出し合う。 5. 各グループの意見をまとめ代表者が発表し、思考を広げる。 6. 本時の学習のまとめをする。	②	②		【知一②】 食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて理解したことを言ったり、書き出ししたりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】 【思一②】 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している内容を捉える。 【観察】
4	【イ.食品衛生に関わる活動②】 1. 前時の振り返りをする。(食品衛生に関する法律、製造・加工の段階での衛生管理) 2. 食品の安全性を守るために消費者の立場でできることを考え、ブレインストーミングを行う。 3. グループに分かれ意見をまとめ、代表者が発表し、クラス全体で共有する。 4. 単元全体を振り返り、新しい知識や周囲の意見を踏まえて、各自で単元の学習内容をまとめる。	③		①	【知一③】 食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて理解したことを言ったり、書き出ししたりしている内容を捉える。 【観察・ワークシート】 【態一①】 健康を支える環境づくりの学習について、問題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている内容を捉える。 【ワークシート】

7. 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・食品の安全性を確保するための法律や生産から流通までの各段階での適切な管理が重要であることを理解できる。 【知識】
- ・食品の製造・加工の段階での危険性を予測し、自身の意見に筋道を立てて伝えることができる。 【思考力・判断力・表現力等】

(2) 展開（3/4時間）

段階	学習内容・活動	教師の指導・支援と評価
はじめ	<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賞味期限、消費期限、食品添加物など食品の安全性のために必要なことを振り返る。 <p>2 食品の安全性を守るための行政の働きには、どういったものがあるか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される意見】 法律をつくる・検査する・監視する</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性のために必要な事項を質問しながら、学習した内容を振り返らせる。 ・思いついた意見を自由に発言させる。 ・生徒からの意見を板書する。 ・本時のめあてを確認させる。
<p>めあて『食品の安全確保・衛生管理のための法律、対策を知ろう』</p>		
なか	<p>3 食品の製造・加工の段階で適応される法律を理解する。《ワークシートに記入》 【食品安全基本法】【食品衛生法】 【食品安全委員会】【食品衛生監視員】</p> <p>4 衛生管理方法の1つである「HACCP」について確認する。《ワークシートに記入》 【危害分析重要管理点】</p> <p>5 【動画視聴】 グループに分かれ、動画を参考に食品の製造・加工の段階で起こる可能性のある危険を予想する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される意見】 異物混入・食中毒・つまみぐい</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの意見をまとめる。 <p>6 代表者がグループの意見を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの意見を共有し、ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品に関する法律について説明し、どの場面でのどのような役割をしているのか伝える。 ・HACCPについて説明する。 <div style="border: 1px solid #0056b3; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆【知識・技能②】 《観察・ワークシート1. 2》</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・食品製造・加工の工程の動画を見せる。 ・グループを作り、個人で予想した後グループ内で共有するよう指示する。 ・自身の意見が出にくい場合はグループ内で教え合うよう促す。 ・他のグループの意見を聞いて、新たな意見はメモを取るよう声をかける。 <div style="border: 1px solid #0056b3; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆【思考・判断・表現②】《ワークシート3》</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の製造・加工の段階で起こる危険性について理解させ、それらを防止するために法律・対策がとられていることを説明する。
まとめ	<p>7 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の説明を聞く。 ・ワークシートに今日の授業で理解したこと、感想を書く。 ・次時の予定を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃、口にしている食品の安全が守られているのは法律が施行されたことが大きく影響していることを説明する。 ・次回は、食品と健康のまとめに入ることを伝える。

【食品衛生に関わる活動①】

2年（ ）組（ ）号 氏名（ ）

1. 食品の安全性を守るための法律

※法律名【 **食品安全基本法** 】【 **食品衛生法** 】

【**食品安全委員会**】（ **内閣府** ）に設置。健康への影響を（ **公平な立場で科学的・客観的** ）に評価する役割。

【**食品衛生監視員**】（ **保健所** ）で食品工場や飲食店において（ **監視・指導** ）を行う。（ **検疫所** ）にも配置されている。

2. HACCPとは？

【 **危害分析重要管理点** 】

食品の製造・加工の工程で発生するポイントを決め、対策がきちんと行われているかを常時監視する方法

3. 食品の製造・加工の段階で起こりうる危険を予測してみよう！

個人	
グループ	
新たな意見 (他のグループ)	

4. 本時のまとめ

本時の授業で印象に残ったワードを書きましょう

{ }

本時の授業の感想・質問を書きましょう

{ }

